



令和 2 年 7 月 1 日 現在	
総世帯数	1,938 世帯
総人口	4,774 人
男	2,328 人
女	2,446 人

『新型コロナウイルスに負けない』

5月22日(金)より公民館の貸館業務が再開され、公民館事業やサークルの活動状況を参加している皆さんに一部ですが紹介を兼ねてお聞きしました。

- ①どんな活動でしょうか？
- ②再開しての率直な感想
- ③活動休止の間にしていたことは？
- ④活動再開で感染症対策として気を付けていることは？
- ⑤これからの計画は？

「大人のぬり絵」



①福祉ひろば事業で、毎月の第一金曜日に集まり各自が選

んだイラストに色鉛筆で色を付け、ぬり絵を楽しんでいます。

②・みんなと変わらぬ姿で再会できて嬉しいです。

・久しぶりなのでとっても嬉しい♪楽しいです。

・今日塗っているイラストの題材は3月にお願したもののので季節外れのぬり絵で残念です。

・再開は嬉しいですが、元の生活に戻ってほしいです。

③・家庭菜園が始まる時期だったので退屈ではなかった。

・庭などの草取りや普段でできていなかったことをしていた。

④・受付時には体温測定等の体調管理や空調管理、密集を避ける並び方と参加者が多い場合は2部屋使用するなど工夫をしています。

・外出は控えめにし必ずマスクの着用を心がけています。

⑤のんびりと温泉旅行がしたくて思い切つて予約しました。

「オカリナ同好会」



①福祉ひろばのサークル活動として、神林ふれあい文化祭の演奏発表に向けて7人で活動しています。入会1年未満の会員が多く、先生の演奏に合わせて練習をしています。

②・メンバーから元気がもらえるため頑張りたい。

・参加することでプラスアルファが楽しめる。

③・家にいてもそれなりに仕事があり忙しい毎日を過ごしています。

・他にできることを楽しんでいました。

④やはりソーシャルディスタンスと換気です。

⑤・3か月のブランクを頑張つて取り戻すことです。

・年に2回の施設ボランティア演奏も行いたいと思います。

（次号へ続く）

インタビュー 絆を深める地域づくり

4月から着任の伊藤裕明神林地区地域づくりセンター長に抱負をお聞きしました。

■ご出身はどこですか

芳川北原町です。前職は臨空工業団地の「松本ものづくり産業支援センター」で中小企業や製造業の相談、支援を行っていました。

■神林の印象について

小学生の頃、神林神社のお祭りに来た思い出があります。晴れた日は自転車通勤です。一面に水田や麦畑が広がっていて、鎖川等水資源も豊富で豊かな自然に囲まれています。また、書家の上條信山先生の生誕の地でもあり歴史と伝統を感じます。

■地域づくりにどんな思いがありますか

「神林みんなの幸せ計画」が策定されていますね。住民福祉を更に向上させる取組みや顔が見えるつながりの中で絆を深めらる地域づくり活動を進めてまいります。

皆さんご協力をお願いいたします。



松本山雅FC J2リーグ戦再開



2月23日に6年ぶりに開幕戦を勝利しこれからの期待が高まった矢先に新型コロナウイルスの影響で4か月を超え、中断を余儀なくされました。そして待ちに待ったJ2リーグ戦が6月27日(土)、初のリモートマッチで再開しました。無観客試合で応援が無く、仕方ないと思いますがアウェイ金沢戦をTVの前で応援観戦しました。松本山雅FCは相手を上回る攻撃力を発揮し攻めましたがゴールネットを揺らすことなく0-0の引き分けに終わりました。松本山雅のゴールキーパー村山選手が好セーブを見せると、相手キーパーのかつて山雅に所属した白井選手も好セーブをし、拮抗した試合でした。

試合が続いていけば、選手はもつと良いパフォーマンスを見せ、連勝を重ねてくれると信じています。

今年は12月20日までの過密日程でJ1昇格を争う事になっていきます。再度中断するよなことがなく、最後まで上位争いを期待し、もう一度優勝での昇格をお願いします。

数年前の夏、神林橋西のアンダーパスを通った時、一人の女性が端の方に腰を下ろし、西側の山の方を身動き一つせず見ていたのです。北西方向には雪煙を衣に峻烈な北アルプス、連なる西側の山々、女性が見ていた山の方は紺色に染まっていました。（この付近は周りの山々全て見渡せる景勝スポットです）後ろ姿で帽子をかぶっていたので顔や年代はわかりませんでした。が、帰りもそこを通った時同じ姿でじつと山に見入っていました。推測するに、海辺の地域から来られたサッカーファンが試合後駐車場へ帰ろうとここを歩いて通った時、山の美しさにひかれ思わず立ち止まり見入ってしまったように感じました。

サッカーファ●や2度目の開催となる国体は全国から人が集まります。故郷の美しい自然を大切にしましょう。